

令和3年度 第59回富山短期大学入学式 学長式辞 令和3年4月5日

68年ぶりの記録的な大雪に、観測史上最も早い桜の満開、先行き不透明な新型コロナウイルス感染症の中で、今年も新学期を迎えました。式場とオンラインのハイブリッド形式ではありますが、今日ここに第59回入学式を挙行できますことは、誠に喜びに堪えません。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはそれぞれの道を辿り、それぞれの思いを胸に、この富山短期大学に入学されました。在学生はじめ教職員一同、心から歓迎いたします。今日からは、気持ちをリセットして、それぞれの新しい人生の第一歩を踏み出して下さい。



さて、本学は1963年に富山女子短期大学を開設して以来、人間性豊かな「教養人」、確かな専門性を備えた「職業人」をめざす「全人的教育」を展開し、今日まで22,820名の卒業生を県内外に送り出してきました。また本学は、教育基本法の精神にのっとり、「高い知性と広い教養、健全にして豊かな個性を持ち、地域社会に貢献する人材を育成すること」を建学の精神としています。

本学での学びの目標は、一つには「地域の生活と産業を支えるスペシャリスト」をめざすことでもあります。皆さんには、食と健康、保育・幼児教育、健康と福祉の専門職として最新の知識・技術と確かな実践力を、またデジタル化が進む地域ビジネスの担い手として経営と情報の実務能力を身につけることを期待します。4年制大学への編入学をめざす皆さんは、着実に基礎的な力を身に付けて下さい。専攻科の皆さんは、管理栄養士をめざして一層の勉学に励んで下さい。

二つ目の学びの目標は、「健全にして個性豊かな人間」をめざすことでもあります。学生同士の学び合いやサークル、学生会などの活動、学生と教職員の人的ふれ合いやきめの細かい学生生活支援は、本学が「学びと成長の共同体」であることを実感できることと思います。また地域をキャンパスとしたボランティア活動やフィールドワークは、「地域に学び、地域に育つ」皆さんの人間力を、確実に高めることにつながります。



今私たちは、大きな時代の転換点に立っています。国連が提唱するSDGs「持続可能な開発目標」17項目は、どれも難問ばかりです。新型コロナウイルスは、全世界で多くの大切なものを奪ってきました。一方でまた新型コロナウイルスは、人と人が寄り添い支え合う「共存・共生」の大切さ、ICTを活用した新しいつながりや社会システム構築の可能性についても示してくれています。

ウイズコロナ、デジタル化の時代だからこそ、足元の現実をしっかりと見つめ、よく考え判断して自分の考えを持ち、仲間や周りの人たちと協力しながら課題を解決して行く力が求められます。これからは複雑で多様な現代社会の諸問題に対して、率直な「?」「問い」を投げかけること、幅広い視野と柔軟な発想をもって、「答えは一つ」ではなく「想定されるあらゆる答え・解決策」を探る「知の探究」に挑戦していただきたいと思います。



結びに、本学の校歌にある「清らなる知性、誠あるところ」は、本学での学びと活動の原点です。新入生の皆さんには、学校法人富山国際学園創設の地・ここ呉羽キャンパスで、生き生きとした2年間の学生生活を送り、一人ひとりが立派に成長されることを期待しています。

皆さんの「未来への挑戦」を全力で応援していただくことをお約束して、入学式の言葉といたします。

令和3年4月5日

富山短期大学長 宮田伸朗